

# ボランティア通信 －13－

2013.8.20

千葉県がんセンター ボランティア支援室

## プロのメイクとネイルで“幸せな時間”が過ごせて

アメリカで活躍中のメイクアップアーティスト・本荘もと子さんの「メイクアップ講座」が8月20日（火）に開かれました。本荘さんは今年で4回目の来院です。

事務局職員をモデルに、顔色が良く見えるチークの入れ方、眉の描き方や手入れ方法などの説明が始まると、参加された患者さん達は熱心に聞き入っていました。モデルさんの後は、希望者それぞれの患者さんに、メイクを行いながら、その人に合ったメイクのアドバイスを行い、参加していた他の患者さん達からは「きれ



いになったわ！」と声がかかりました。メイク講座なので「大人の女性限定」と思いきや、ネイルのコーナーでは7歳と15歳の女子、それに男の子も参加してネイルアートに初挑戦。「パンクロックのコンサートに行く時にしていくような感じで、



とお願いしたら思い通りに仕上げてもらって感激」と写真撮影のOKもいただきました（写真左）。「爪の保護をしてもらえた…」と恥ずかしそうにしていた男の子も「気分転換になってよかったです」と嬉しそうにしていました。小さな指にネイルシールを貼ってもらった小学生の女の子には、可愛いシールのプレ



ゼントも用意しており、「楽しかった」と声が弾んでいました（写真右上）。病室の個別訪問では緩和の患者さん2名に、ナチュラルで素敵なメイクをしてくださり、「思いがけず素晴らしい方にお化粧をしてもらえて、幸せな時間でした」と晴れやかな笑顔の患者さんとご家族が、記念撮影をされていました。

女性のみならず、男性やご家族の方にも喜んでいただいた一日でした。